EA116VE（エアーコンプレッサー）取扱説明書

この度は、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂く為にも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

注　意

・コンプレッサーを始動させる前に、エアーフィルターをピストンヘッドにねじ込んで下さい。
（梱包時、搬送の都合上、取り外してあります。
移動の際にはぶつけない様にするか、取り外して保管して下さい）

・コンプレッサーを始動させる前に、付属のオイルを必ずクランクケースに注入して下さい。
（梱包時、搬送の都合上、オイルを抜いた状態にしてあります）

◆ 仕様

・電源…100V　50/60Hz
・定格出力…1.5kW（2HP）
・吐出し空気量…150L/min（50Hz）、182L/min（60Hz）
・自動圧力スイッチ及びレギュレーター付
・タンク容量…38L
・最高使用圧力…0.78MPa（8kg/c㎡）
・カプラーソケット付
・伸縮式キャリーハンドル付

◆各部の名称

※付属オイルあり

注　意

・電気ショックを防止する為、適正なアース（接地）をして使用して下さい。
・コンプレッサーを、濡れた場所や爆発の起こりやすい状況下では、使用しないで下さい。
・電気部分に加工を加えないで下さい。
・安全バルブは工場出荷時に調整されていますので、加工しないで下さい。
・圧力スイッチは工場出荷時に調整されていますので、加工しないで下さい。
・コンプレッサーは使用中に熱くなりますので、モーターの稼働中は、熱を持つ所に触れないで下さい。
・コンプレッサーは電源と接続して、スイッチを入れている間はタンクに空気が溜まると
　モーターはストップします。空気が減少したら再び自動で圧縮します。
・コンプレッサーの圧縮空気は、一酸化炭素を含んでいますので、呼吸用には使用できません。
・ペンキや薬品を散布する時は、防護マスクを着用して下さい。
・エアー使用時は、防護メガネを着用して下さい。
・過圧を避ける為、安全バルブがセットされていますので、加工したり外したりしないで下さい。
　時々、バルブのリングを引いて操作してみて下さい。
・エアータンクを熔接したり、穴を開けて加工しないで下さい。

◆ 設置

・コンプレッサーは、清潔で充分換気のできる場所に設置して下さい。
・コンプレッサーは、壁や障害物から最低30～45cm以上離して下さい。
・コンプレッサーは、水平でしっかりした場所に置いて下さい。
・コンプレッサーの空冷フィンは、常に清潔にすると長持ちします。
・コンプレッサー稼働中は、上に布や物などを置かないで下さい。

◆ コンプレッサーへの注油

・適正なコンプレッサーオイルを使用して下さい。
・コンプレッサーの稼働中に、オイルを交換・補充しないで下さい。

オイルプラグ

（オイルの注入）

① オイルプラグを外します。
② オイルをクランクケースにゆっくり入れます。
③オイルディップスティックのHIGHとLOWの間にオイルが見えれば適正な量です。

（オイルは少なすぎるとモーターが焼き付き、
多すぎるとピストンに悪影響を与えますので注意して下さい）

（オイルの交換）**稼動300時間毎か3ヶ月毎**

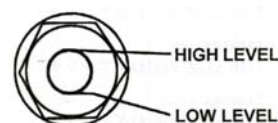
① オイルプラグを抜いて、ドレンプラグを外します。（古いオイルを排出して下さい）
② ドレンプラグを戻します（プラグにシールテープを巻くと、漏れません）
③ コンプレッサーオイルをクランクケースにゆっくり入れます。
④ オイルディップスティックの中間位置付近にオイルが見えれば適正な量です。

オイルドレンプラグ

※コンプレッサーを始動させる前に、ナットやボルトがしっかり締まっているか確認して下さい。

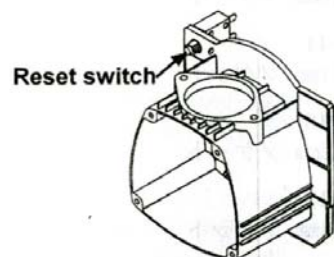
◆ 初期始動時

1. ドレンプラグを全開にします。
2. 圧力スイッチを「AUTO」にします。
3. 電源にプラグを差し込みます。
（スイッチボックスのノブを押し下げるとON、引き上げるとOFFです）
4. 無負荷で10分間運転して下さい。
5. ドレンプラグを締めて準備完了です。

（自動圧力スイッチが装備されており、セット圧力0.78MPa（8kg/c㎡）で
OFFになり、0.59MPa（6kg/c㎡）でONの状態になります。）

◆ 圧力調整（二次側・出口側圧力）

レギュレーターのノブを左に回すと、二次圧力は低くなります。
反対側に回すと高くなります。
一次側圧力はタンク内の圧力を示すものです。

◆ サーキットブレーカースイッチ

ピストン横にサーキットブレーカースイッチがあります。
これは、モーターに通常運転以上の（15Aを超える）電流が流れた時、
または130℃以上に過熱した場合に働き、自動的に運転をストップします。
この場合は電源を抜き、15～20分経過後モーターの温度を下げてから、
黒いリセットボタンを押して下さい。

◆ キャリーハンドルについて

ハンドルを固定している蝶ねじを緩めて伸縮を行います。
（蝶ねじは左右にあります）

◆ メンテナンス

メンテナンスや調整する前に、安全の為に下記の事を実行して下さい。
・電源からプラグを抜いて下さい。
・タンクから圧縮空気を排出して下さい。

◆ **チェックリスト**

1. 使用前の点検
   - ・オイルレベルのチェック
   - ・空気圧力チェック
   - ・不規則ノイズや振動のチェック
   - ・ボルトナットの締め付け確認
2. 週点検
   - ・エアーフィルターは常にきれいにしておいて下さい。

３．月点検
・各接続部から漏れがないか石鹸水などでチェックして下さい。
・もし漏れ箇所があれば、増し締めして下さい。

４．使用300時間毎
・コンプレッサーオイルを交換して下さい。
・コンプレッサーを、ペンキスプレーやホコリの多い場所で使用される場合は、
オイルを頻繁に交換して下さい。

トラブルシューティング及び予防とメンテナンス

●製品使用上で何らかのトラブルがあった場合、修理等へ出す前に下記の項目を再度ご確認下さい。

このような時	状態・原因	対処方法
起動しない	1.電源コードが外れている 2.リセットスイッチが切れている（過電流が流れた時） 3.コードリールを使用している	1.電源プラグを差し込んで下さい。 2.リセットスイッチを押して下さい。 3.コンセントに直接つなぐか、トランスで電圧を調整して下さい。
使用中に動かなくなった	1.サーキットブレーカースイッチが働いている(モーターのオーバーヒート、コードリール使用による電圧降下など) 2.モーターに過電流(15A以上)が流れた、或いは130度以上過熱した為	コードリールを使用されていましたら中止して下さい。 次の手順で再起動して下さい。 1.直ちに電源からプラグを抜き充分に温度が下がったことを確認してから黒いリセットボタンを押して下さい。 2.ドレンプラグを全開にしてタンク内が空になっていることを確認の上、プラグを閉じて下さい。 3.始動したら自動圧力スイッチが0.78MpaでOFFになるか確認して下さい。
圧力が上がらない	1.レギュレーターの出力側の調整が低い 2.エアフィルターの汚れがひどい 3.接続管及びネジが緩んでいる	1.取扱説明書の圧力調整を参照の上、調整して下さい。 2.フィルターの掃除をして下さい。汚れが落ちない場合は新品と交換して下さい。 3.固く締め直して下さい。
圧力が下がらない	レギュレーターの出力側の調整が高い	取扱説明書の圧力調整を参照の上、調整して下さい。
スイッチを入れるとエアーが漏れる	起動時のモーター負荷軽減の為0.15Mpaになるまでスイッチ下部よりエアーを逃がします。	異常ありません、そのままお使い下さい。
エアーに含まれる油量が増えてきた	間違えた粘度のオイルを使用している クランクケース内のオイルが多すぎる	指定の粘度の＃ISO-68のオイルを使用して下さい。 指定の位置にくるようにオイルを抜いて下さい。

●予防とメンテナンス

注意事項	予防策とメンテナンス
コードリールのご使用	コードリールでのご使用は電圧降下による過電流がモーターに流れ、負荷がかかり、モーター焼損の原因にもなりますのでトランスで電圧調整して下さい。
オイルのご確認	オイルの入れ忘れによるモーター焼損にもご注意下さい。
オイル交換	オイルは定期的(300時間または3ヶ月毎)に交換して下さい。 劣化したオイルから出た水分による錆がモーター焼損の原因になる場合があります。
衝撃	運搬途中や使用中に衝撃が加わるとモーターの軸ずれによる過負荷が焼損の原因になります。
タンク内の水分除去	作業完了後にタンク内のエアーと共に溜まった水分をドレンプラグより排出して下さい。
エアーフィルタのメンテナンス	埃の多い所での作業後は、エアーフィルター等の埃を除去して下さい。

改造はしないで下さい。
・本機の寿命を著しく損ねる場合が有ります。
・ご使用者が怪我をする場合が有ります。
・作業工程に支障を来たす場合が有ります。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL:(06)6532-6226　FAX:(06)6541-0929